

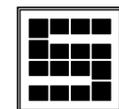
令和4年度 箕輪町合葬式墓地建設工事

令和 4 年 3 月

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	
A-01	配置図 / 付近見取図	1/100	G-01	外構平面図	1/100
A-02	平面詳細図・屋根伏図・建物概要	1/50	G-02	外構詳細図	1/30
A-03	仕上表 / 立面図	1/50	D-01	造成平面図	1/100
A-04	矩計図 / 建具表	1/30・1/50	D-02	造成断面図 / 解体建物概要	1/100
A-05	石加工詳細図	1/30・1/10			
A-06	家具詳細図	1/30			
S-01	構造特記仕様書	N.S			
S-02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	N.S			
S-03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	N.S			
S-04	基礎伏図・梁伏図	1/50			
S-05	配筋リスト図	1/30			
					総枚数 15枚

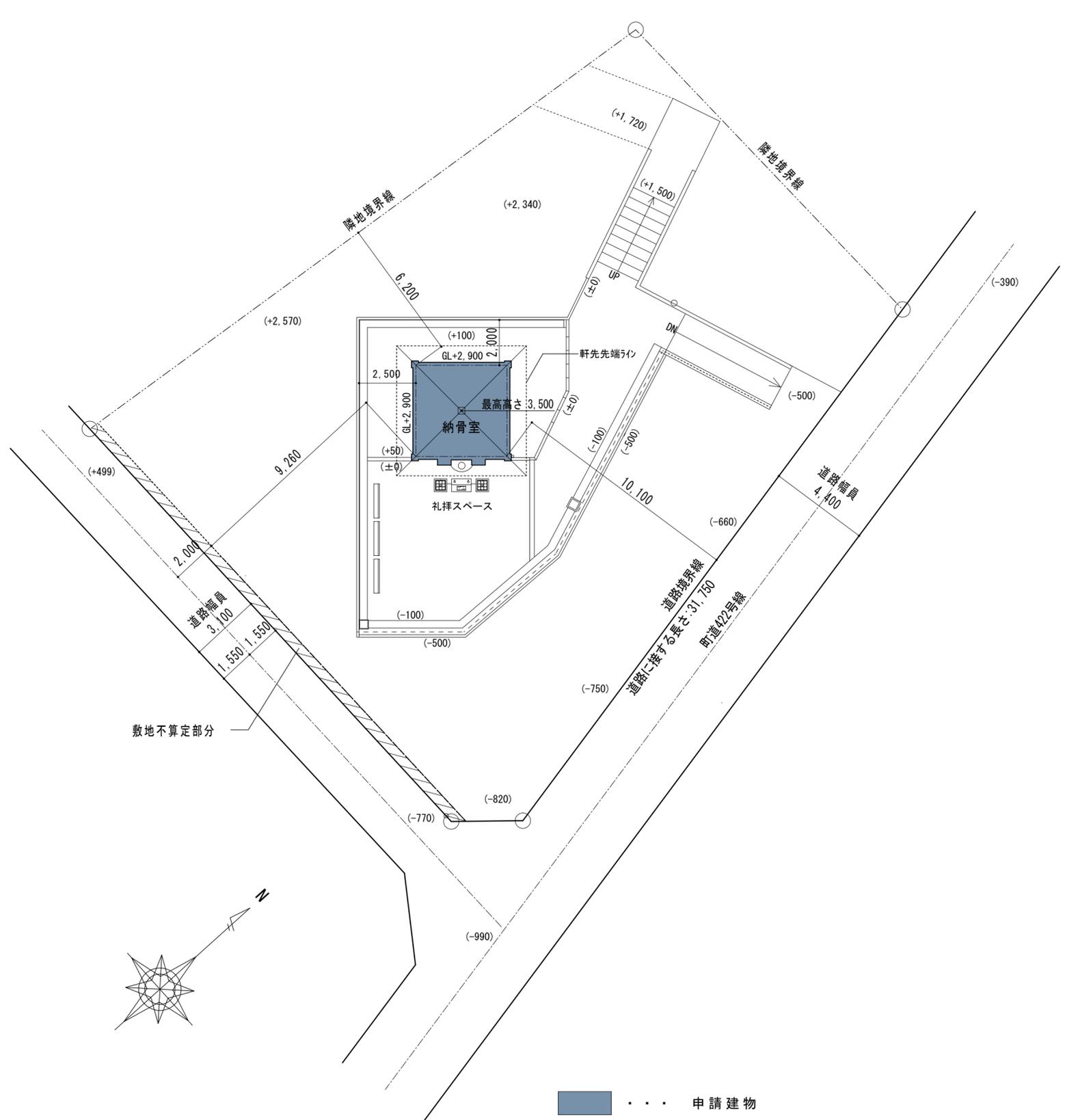


みのわまち
箕輪町
Mi nowa -Town



創和

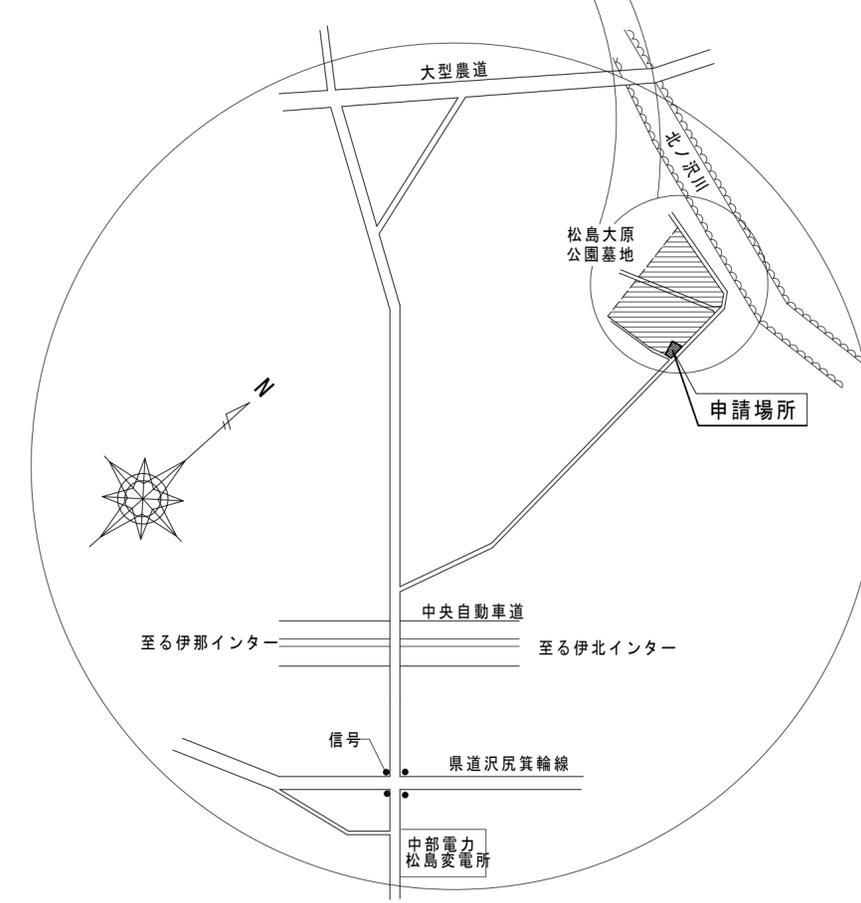
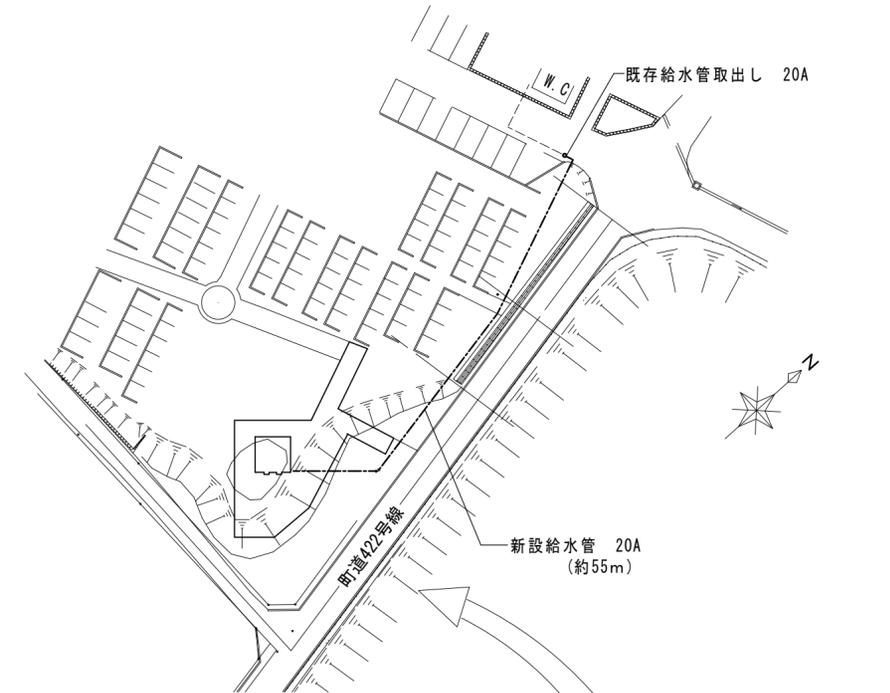
株式会社 創和設計



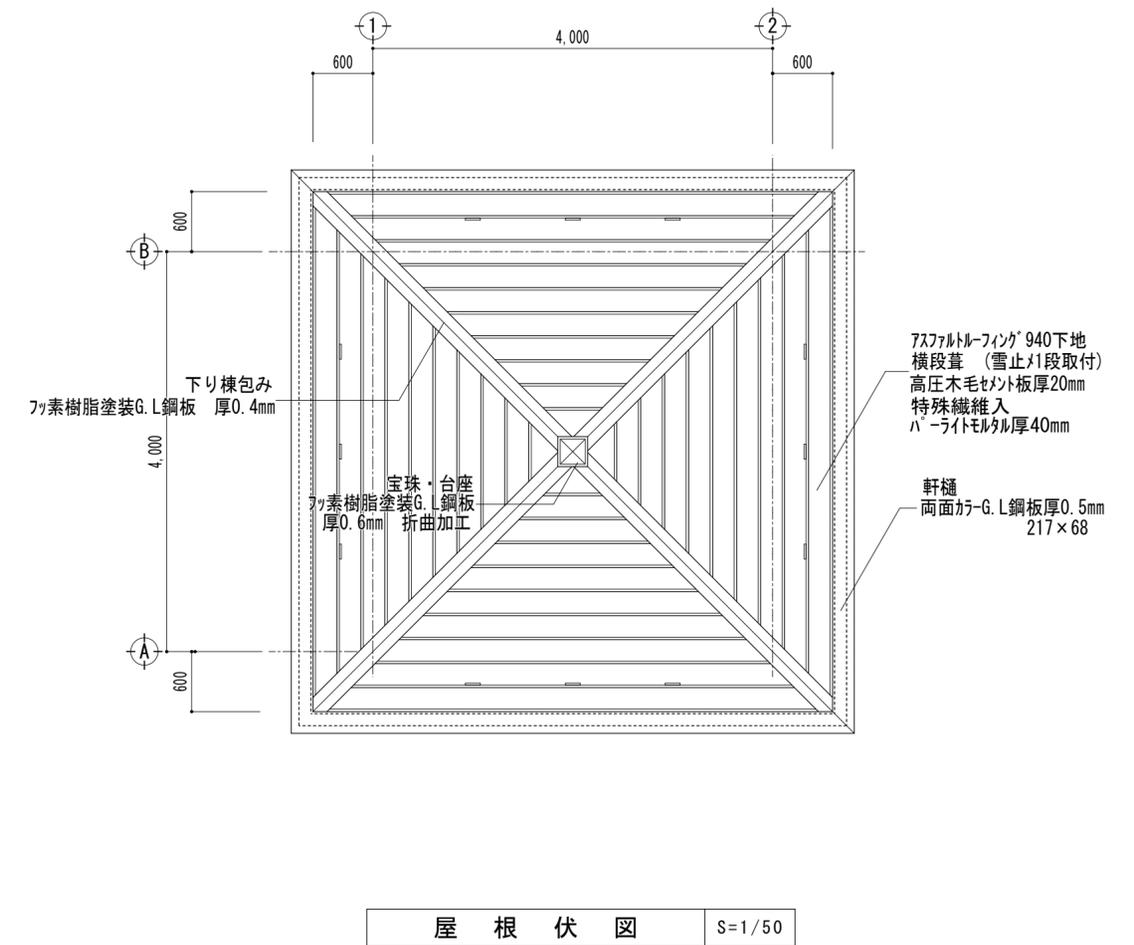
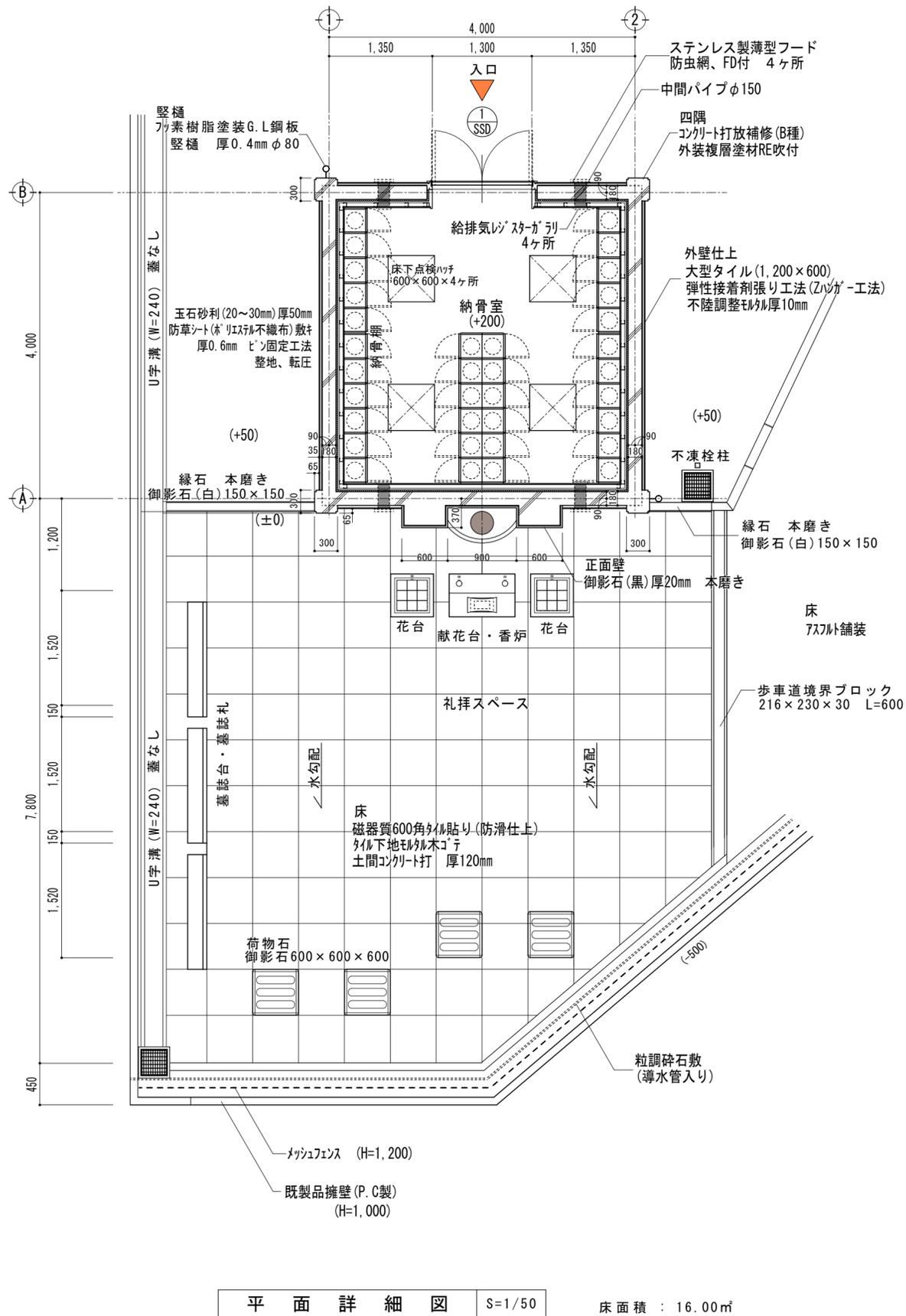
■ . . . 申請建物

敷地面積 : 612.00㎡

配置図 S=1/150



付近見取図



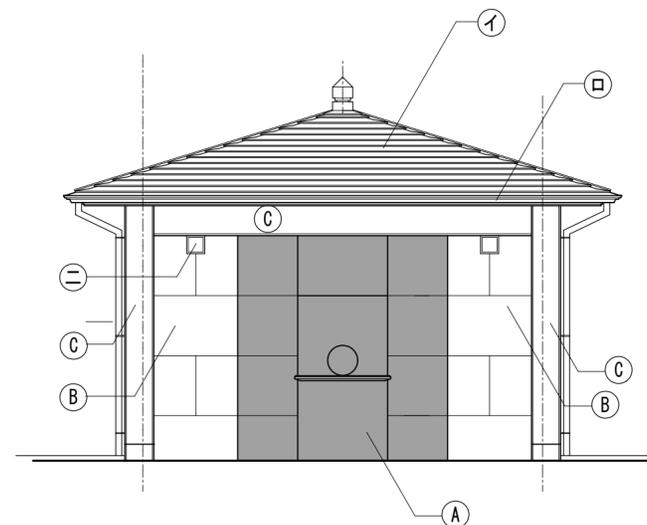
【建物概要】

工事名称	令和4年度 箕輪町合葬式墓地建設工事
建設場所	上伊那郡 箕輪町 大字 中箕輪 11217番地の1・2
用途地域	指定なし
防火地域	指定なし
用途	合葬式墓地納骨堂
建築面積	16.00㎡
延べ面積	16.00㎡
最高高さ	3.50m
最高軒高さ	2.85m
構造	壁式鉄筋コンクリート造
その他付属工事	建物周辺土木造成 一式
	外構工事 一式
	既存東屋 解体工事 木造平屋10.34㎡ 詳細は別図による。 (床インターロッキング・基礎含む) 一式
	解体後 草捨て場 新設 29.5m ³ 程度掘削

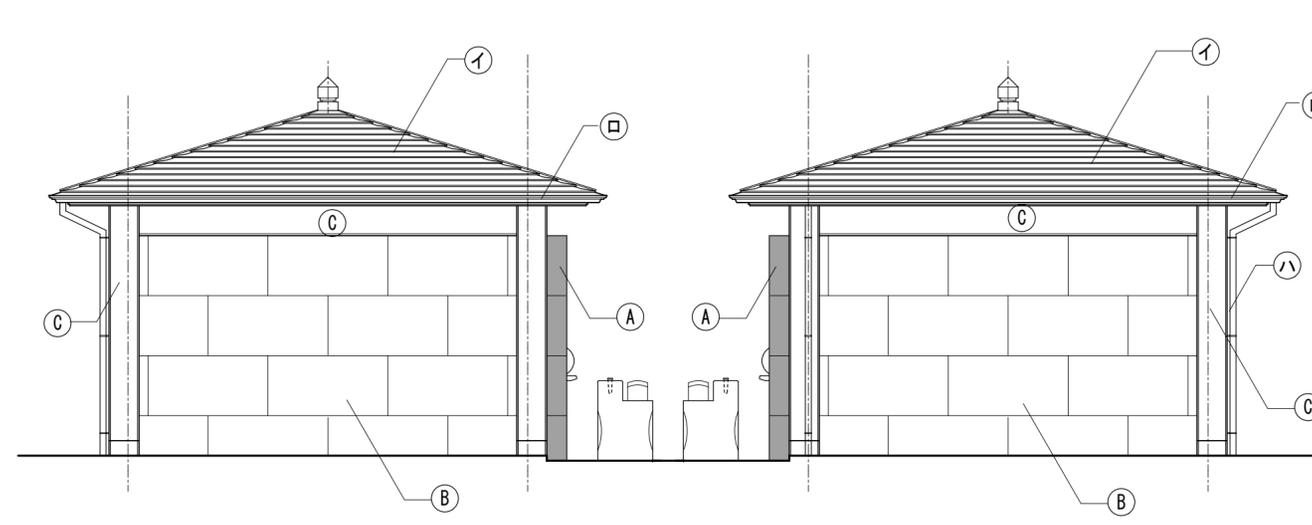
外 部 仕 上 表

基礎	鉄筋コンクリート造 外回り壁 珪酸質系塗布防水		屋根	フッ素樹脂塗装G.L鋼板 厚0.4mm 横段葺 (雪止め取付) 元旦ビューティ工業KK 元旦スプリングルーフ-800同等品 アスファルト-フィング 940下地 高圧木毛セメント板厚20mm 下り棟・宝珠・台座付 特殊繊維入 パーライト厚40mm	
外壁仕上	東面	中央面・・・御影石(黒)厚20mm本磨き セラミック'ント'接着 両横面・・・不陸調整珪酸質厚10mm 弾性接着剤張り工法(Zハガ'-工法) 大型タイル(1,200×600) 柱・梁型 コンクリート打放補修(B種) 外装複層塗材RE吹付	軒天	コンクリート打放補修(B種) 外装複層塗材RE吹付	
	南西北面	不陸調整珪酸質厚10mm 弾性接着剤張り工法(Zハガ'-工法) 大型タイル(1,200×600) 柱・梁型 コンクリート打放補修(B種) 外装複層塗材RE吹付	樋	軒樋・・・両面フッ素樹脂G.L鋼板厚0.5mm 217×68 落ち葉除け付 縦樋・・・フッ素樹脂塗装G.L鋼板 厚0.4mm φ80 H.L仕上	
礼拝スペース	床仕上 土間コンクリート打 厚120mm タイル下地珪酸質木ゴテ 磁器質600角タイル貼り(防滑仕上)	献花台・・・無垢御影石(黒)本磨き本磨き 香炉台付 花台・・・無垢御影石(黒)本磨き 折り石・・・無垢御影石(黒)本磨き 墓誌台・・・無垢御影石(白)本磨き 墓誌台・・・無垢御影石(白)本磨き 揮毫台付 荷物台・・・無垢御影石(白)本磨き (一部プラスチック加工)	560×850×880H 1台 560×560×630H 2台 φ300 1,550×295×2,015H 2台 1,550×295×2,445H 1台 600×600×650H 4台	香炉 200×400×250H ステンレス花立 2台 ステンレス製取外式花立水槽 400×400×200H 墓誌用プレート 100×200 御影石(黒) 234枚	
室名	床仕上	巾木仕上	壁仕上	天井仕上	備考
納骨室	コンクリート打金ゴテ下地 長尺塩ビシート貼り 厚2.0mm	塩ビ巾木 H=60	現場発泡ウレタン吹付厚25mm LGS下地(50形) @ 300 珪酸質板(1類) 厚9mm張り 珪酸質板厚6mm EP-G 面取り突付張り	LGS(19形)下地 @300 珪酸質板厚6mm EP-G 面取り突付張り	C.H 2,300 納骨棚(204壺収納)、電池式照明器具 2ヶ所 床下点検口 4ヶ所 給排気レジスタガリ 4ヶ所
カロート	コンクリート木ゴテ押E 乾燥山砂敷き 厚100mm	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	壁外側 珪酸質系塗布防水(四周)

符号	仕上・仕様	符号	仕上・仕様
Ⓐ	御影石(黒)厚20mm本磨き セラミック'ント'接着	Ⓘ	フッ素樹脂塗装G.L鋼板 厚0.4mm 横段葺 (雪止め取付)
Ⓑ	不陸調整珪酸質厚10mm 弾性接着剤張り工法(Zハガ'-工法) 大型タイル(1,200×600)	Ⓚ	両面フッ素樹脂G.L鋼板厚0.5mm 217×68 落ち葉除け付
Ⓒ	コンクリート打放補修(B種) 外装複層塗材RE吹付	Ⓛ	ステンレス製縦樋 厚0.8mm φ80 H.L仕上
Ⓓ	フッ素樹脂塗装G.L鋼板 厚0.4mm 横段葺 (雪止め取付)	Ⓜ	給排気レジスタガリ (F.D 防虫網付)
Ⓔ		Ⓨ	ステンレス製両開き扉 ガリ付(ステンレス防虫網付)

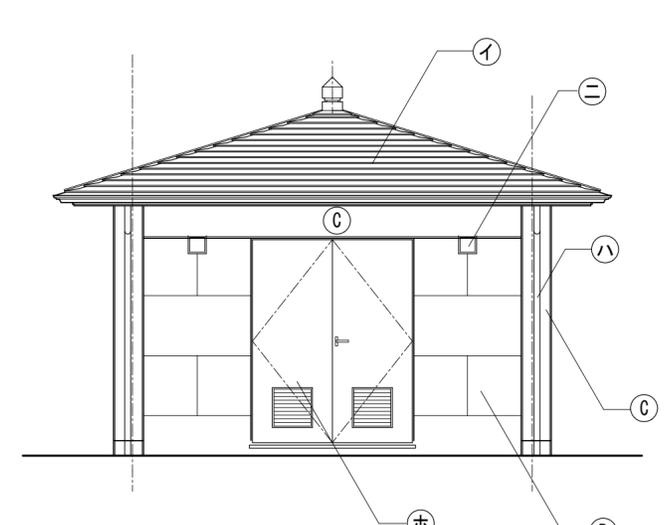


東 立 面 図 S=1/50



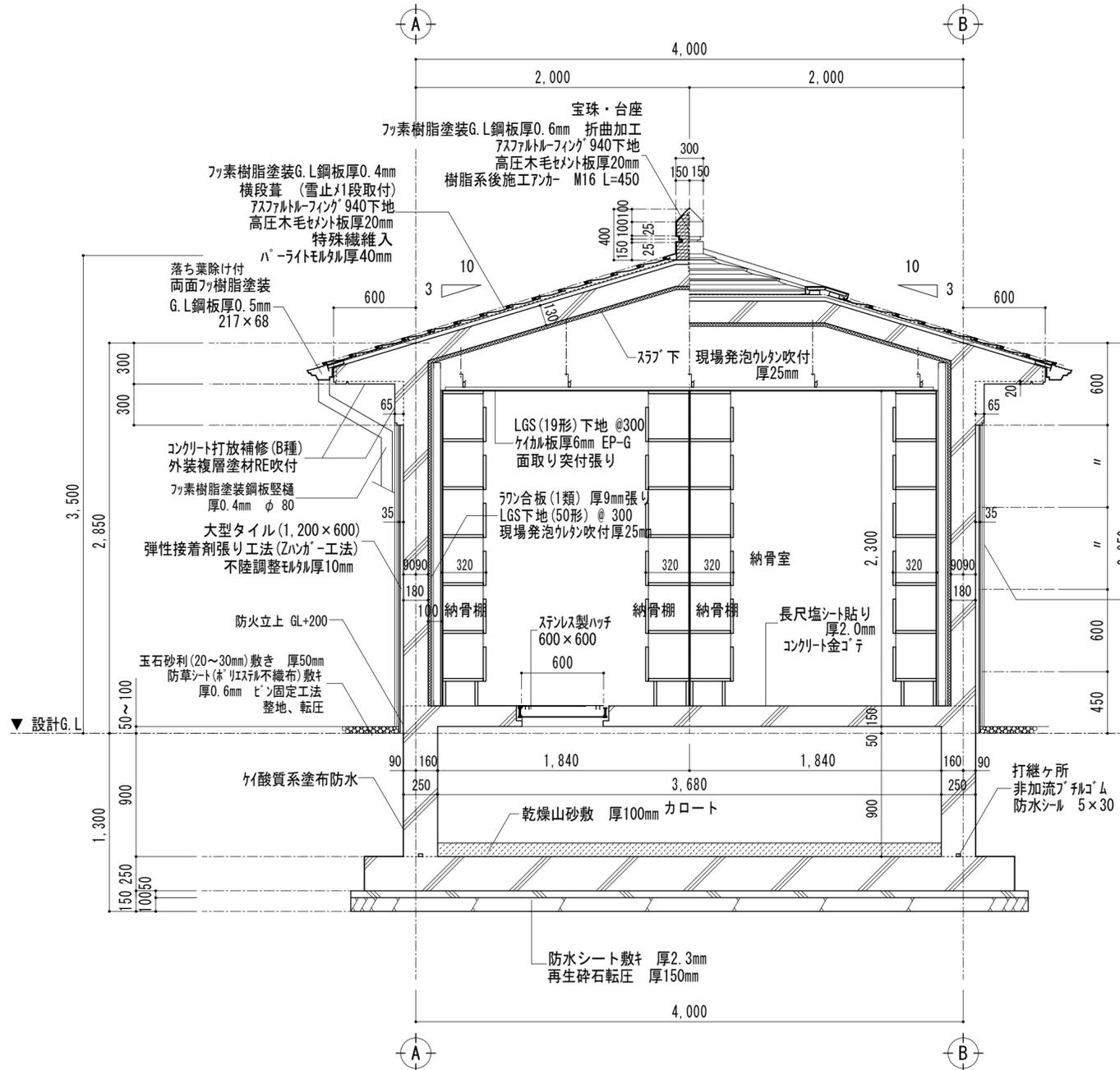
南 立 面 図 S=1/50

西 立 面 図 S=1/50

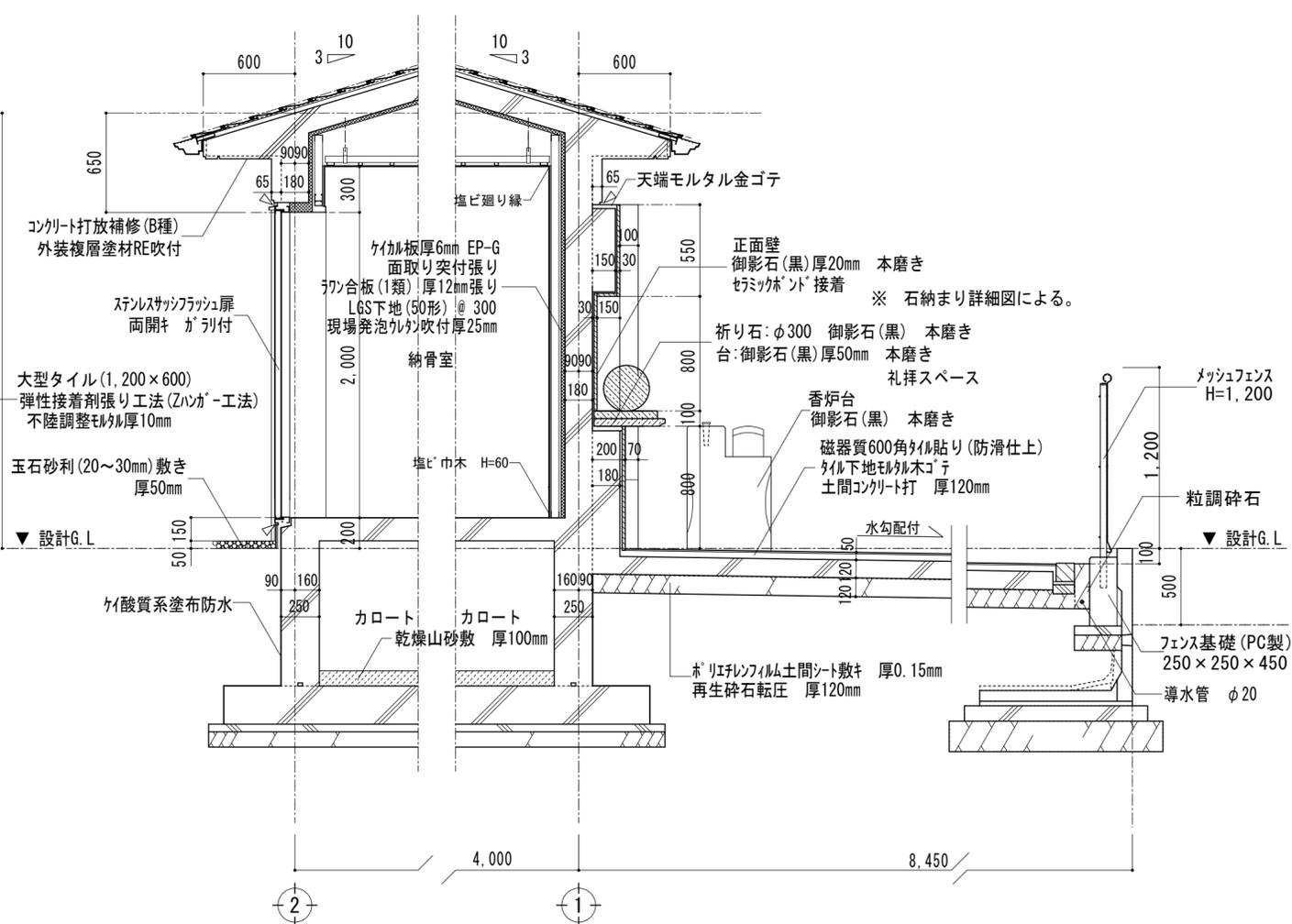


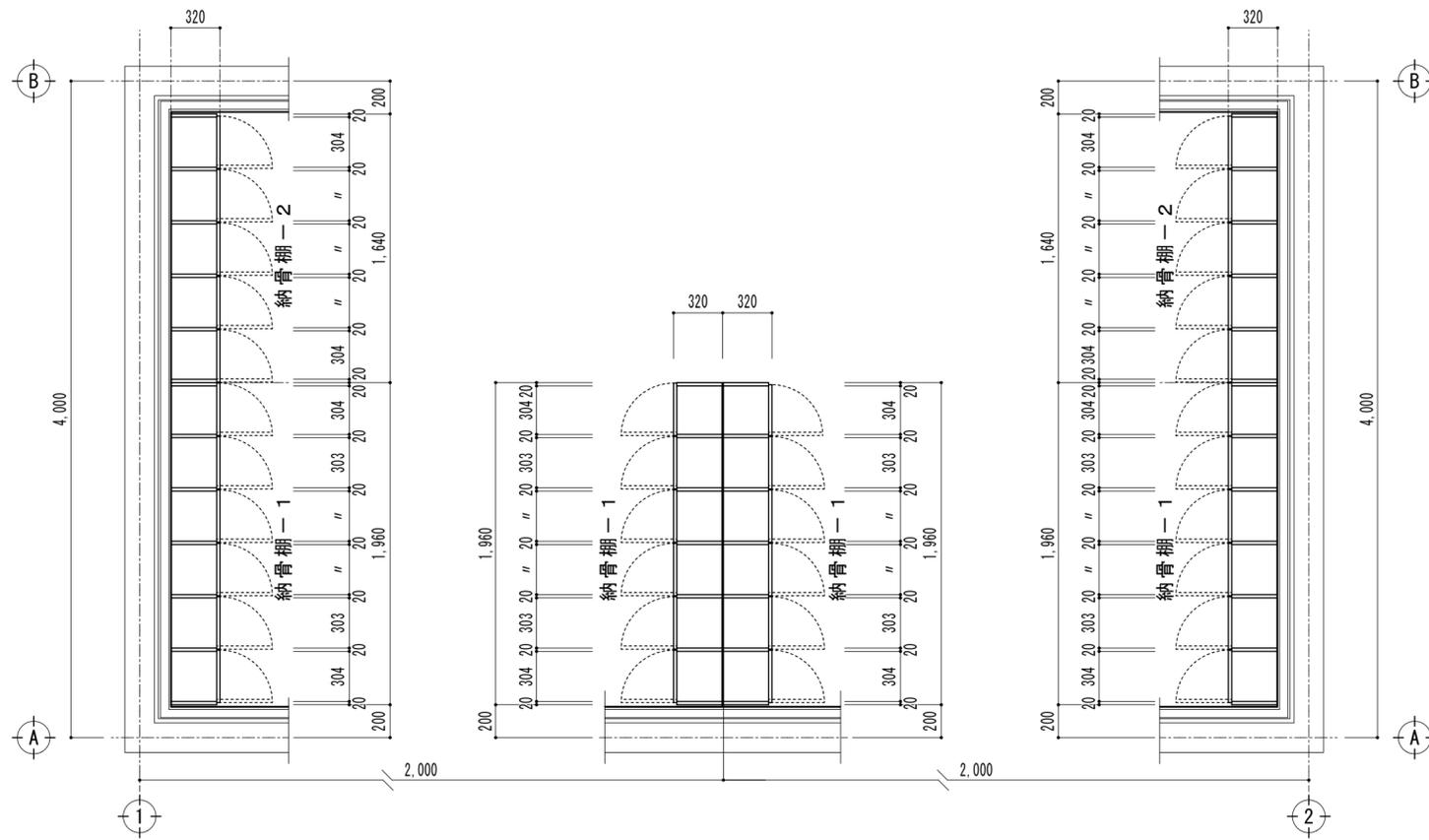
北 立 面 図 S=1/50

建 具 表					
記号・取付場所	① SSD	納骨室	数量	1	
形 式	ステンレスサッシ フラッシュ両開きドア (ガラリ付)				
見 込	1 0 0 mm				
仕 上	H.L仕上				
金 物	丁番・レバーハンドル取手・ドアクローザー・シリンダー錠 フランス落とし・上水切り・下枠 (浅型)・膳板 金物類は、全てSUS304とする。				
備 考	フラッシュ扉内 グラスウール (24kg/m3) 充填 ドアガラリステンレス防虫網付				

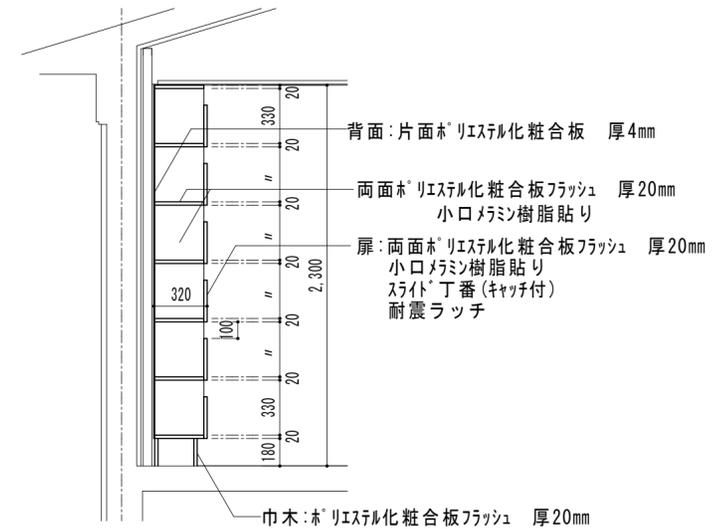


矩 計 図 S=1/30





納骨棚 平面図 S=1/30

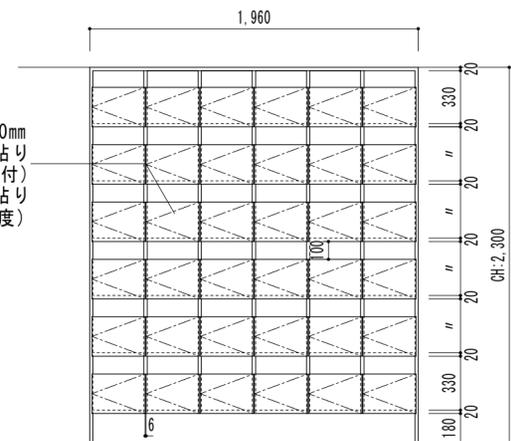


納骨棚 平面図 S=1/30

納骨棚-1	1,860 × 2,300 (横6列 縦6段)	4台	納骨収納個数	144体
納骨棚-2	1,640 × 2,300 (横5列 縦6段)	2台	納骨収納個数	60体
				合計 204体

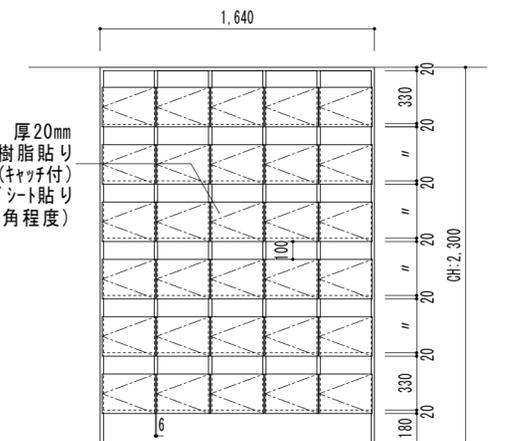
扉：両面ホ[®]リイステル化粧板フラッシュ 厚20mm
小口メラミン樹脂貼り
スライド[®]丁番(キャッチ付)
棚番号カッティングシート貼り
(ゴシック30mm角程度)

扉：両面ホ[®]リイステル化粧板フラッシュ 厚20mm
小口メラミン樹脂貼り
スライド[®]丁番(キャッチ付)
棚番号カッティングシート貼り
(ゴシック30mm角程度)



納骨棚-1 正面図 S=1/30

※ 仕様は、納骨棚-1、-2と同様



納骨棚-2 正面図 S=1/30

※ 仕様は、納骨棚-1、-2と同様

構造設計標準仕様

適用は ■ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 令和3年度 箕輪町合葬式墓地建設工事
建築場所 箕輪町 大字中箕輪 1 1 2 1 7 番地 2 地
(2) 工事種別 ■ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築
(3) 構造設計一級建築士の関与 □ 必要 ■ 必要としない
(4) 構造種別
□ 木造 (W) □ 補強コンクリートブロック造 (CB) □ 鉄骨造 (S)
□ 鉄筋コンクリート造 (RC) ■ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) □ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) □
(5) 階数
地下 0 階 地上 1 階 塔屋 0 階
(6) 主要用途 合葬式墓地納骨堂
(7) 屋上付属物
□ 高架水槽 kN □ キュービクル kN □ 広告塔 □ 煙突
(8) 特別な荷重
□ エレベータ □ リフト kN □ ホイスト kN
□ 倉庫積載床用 N/m² □ 受水槽 kN □
(9) 付帯工事
□ 門扉 □ 擁壁 □ 駐輪場 □ 機械式駐車場 □
(10) 増築計画 □ 有 () □ 無 ()
(11) 構造計算ルート X方向ルート 1 () Y方向ルート 1 ()

2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

Table with 5 columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質基準強度, スランプ, 備考. Includes rows for concrete, masonry, and reinforcement materials.

Table with 4 columns: 種類, 径, 使用箇所, 継手工法. Includes rows for reinforcement bars and mesh.

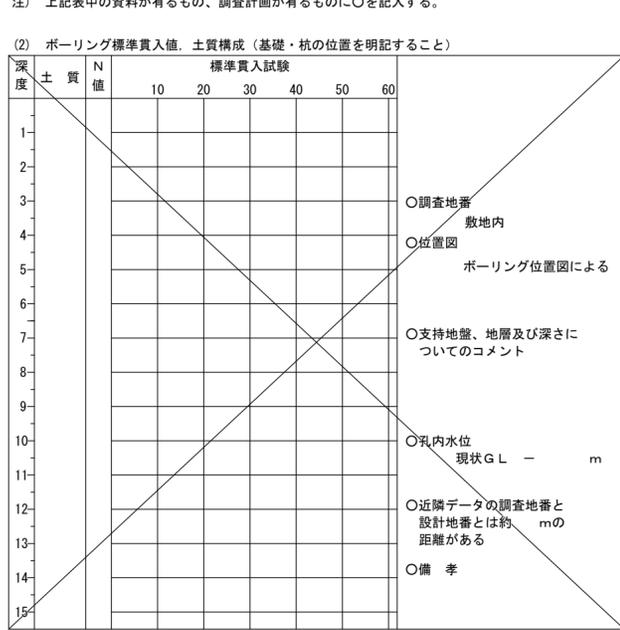
Table with 4 columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, 設計溶接強度. Includes rows for bolts and welding materials.

Table with 4 columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, 設計溶接強度. Includes rows for high-strength bolts and anchor bolts.

Table with 4 columns: 材種, 型式, 厚, その他, 使用箇所, 仕様・構法. Includes rows for ALC panels and special deck plates.

3. 地盤

Table for ground investigation data with columns for investigation items and results.



注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 □ ベタ基礎 □ 布基礎 □ 独立基礎 試験渠 ■ 有 □ 無
基礎下端深さ=GL-1.31m、支持層: 砂礫層、長期許容支持力度=300-kN/m² 載荷試験 ■ 有 □ 無
(2) 地盤改良 □ 浅層混合処理工法 □ 深層混合処理工法 □
深さ GL- m、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □ 有 □ 無
注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針: 日本建築センター2002」を参考とする

Table for pile work with columns for pile type, material, construction method, and notes.

杭仕様 □ 施工計画書承認 □ 杭施工結果報告書
試験杭 (□ 有 □ 無) (□ 打ち込み □ 載荷 □ 孔壁測定) 1 本

Table for pile specifications with columns for pile diameter, design capacity, pile length, and notes.

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (Fcc) が 36 N/mm²以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。
■ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)最新版」の仕様を JASS5より優先して適用する。

- (1) コンクリート
■ コンクリートはJIS A5308 に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5による。
□ 耐久設計基準強度 fcd □ 一般 □ 標準 □ 長期 □
■ セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調査計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5t-6031によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。
一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
■ コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間はコンクリートの温度が2度を下らないようにする。
■ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。
(2) 鉄筋
■ 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3113 に規定されるD種1号適合品とする。
■ 鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
■ 鉄筋継手等

Table for reinforcement joint specifications with columns for joint type, diameter, and strength.

- 注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取付た継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準 (建築物の構造関係技術基準解説書 2007)」によって検討した部材の条件・仕様によること。
■ D19未満は、全て重ね継手とする。
■ 継手部分の施工要領は(社) 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)による。
外観検査 ■ 有 □ 無 引張試験 □ 有 ■ 無 超音波探傷試験 ■ 有 □ 無
ガス圧接部の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
(1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする)
□ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は公的機関または第三者検査機関とし、監督員の承認を得ること

- (3) 型枠
■ 材料 合板厚 12 mm標準とする ■ 施工 JASS 5による
■ 型枠存置期間

Table for formwork specifications with columns for type, location, and strength.

- 注) 1片持はり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監督者の指示による。
注) 2丈はりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
注) 6直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
注) 7支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ (社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
■ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」
(2) 工事監督者の承認を必要とするもの
■ 製作工場 ■ 製作要領書 ■ 工作図 ■ 施工計画書
■ 認定又は登録工場 (大臣認定 SHMRJ M グレード)
■ 材料規格証明書※、または試験成績書
■ 鋼材 ■ 高力ボルト ■ 特殊ボルト □ 頭付きスタッド
※ (社) 日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
■ 社内検査表 □ □
(3) 工事監督者が行う検査項目 (■印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること)
■ 現状検査 ■ 組立・開先検査 ■ 製品検査 ■ 建方検査 □
(4) 接合部の溶接は下記によること
□ 平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

Table for joint inspection with columns for inspection location, method, and results.

注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

- 高力ボルトの検査 (検査結果は後日工事監督者に報告すること)
軸力導入試験 □ 要 ■ 否 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 ■ 否
■ 一次締め後にスレーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の以上がないことを確認する。
■ トルシア形高力ボルトには二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

- (6) 防錆塗装
■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
■ 錆止めペイントは、□JIS K 5621、□JIS K 5625、□ ■JISK5674 を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実情に応じて決定すること。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。
(7) 耐火被覆の材料

7. 設備関係

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
□ 建築物に設ける屋上から突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを50mm以上とした鉄筋コンクリート造とする。
□ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力に対して適切に支持されていること。
□ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力に対して構造耐力上安全であること。
□ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
■ 設備機器の架台及び基礎については工事監督者の承認を得ること。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 D...部材の成 R...直径
 e...間隔 r...半径 CL...中心線 Lo...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)
鉄筋は、SD295A、SD295B、SD345を使用する。 折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上			

※片持ちスラブ上端筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所 よる呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による 区分	鉄筋の折曲げ 内のり寸法 (R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下 D19~D25	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下 D19~D25	4d以上 6d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コン クリートの設計 基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び 重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L ₂)	下ば筋 (L ₃)		
SD295A SD295B SD345	21 22.5 24 18	35d または 25d フックつき 40d または 30d フックつき	25d または 15d フック つき	10d かつ 15cm ² 以上	40d または 30d フックつき 45d または 35d フックつき

コンクリートは普通 Fc=18N/mm² 以上 24N/mm² 以下、軽量 Fc=18N/mm² 以上 22.5N/mm² 以下

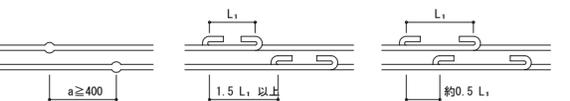
継手

- 末端部のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

ガス圧接形状



圧接継手



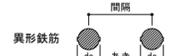
欄外特記による

構造部分	最小かぶり厚さ	設計かぶり厚さ
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ**・非耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40	50
基礎 (捨コンクリート部分を除く)	60	70

[注] * 耐久性上有効な仕上げのない場合、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。
 また、軽量コンクリートのない場合は、10mm増しの値とする。
 ** 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。[8-(1)のa参照]

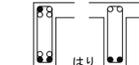
(5) 鉄筋のあき

- 異形鉄筋では呼び名に用いた数値の1.5d以上
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上



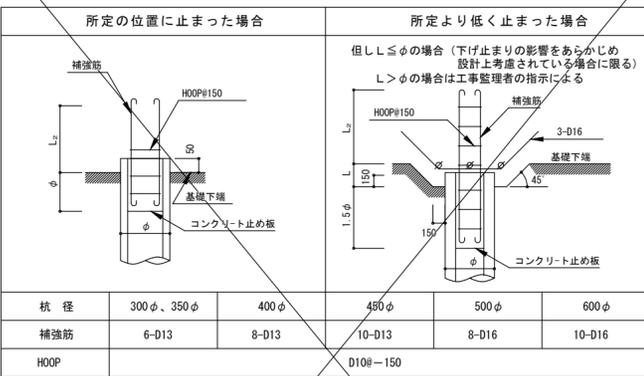
(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- 壁長が1m以下の壁横筋の末端
- 柱・梁 (基礎梁を除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)
- 単筋梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

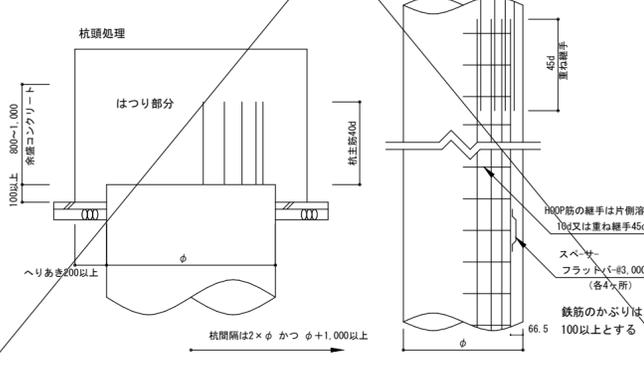


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う



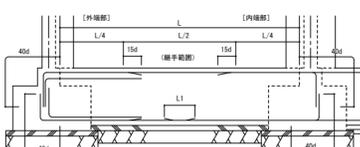
(2) 現場打ちコンクリート杭



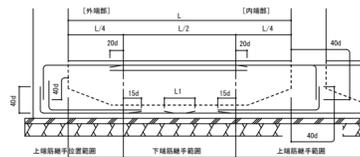
4. 基礎

(1) 基礎梁 定着、継手

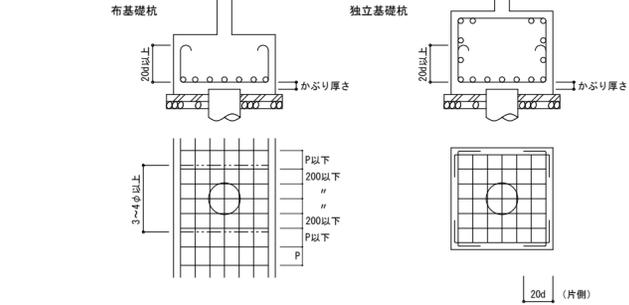
□ 独立基礎、杭基礎の場合



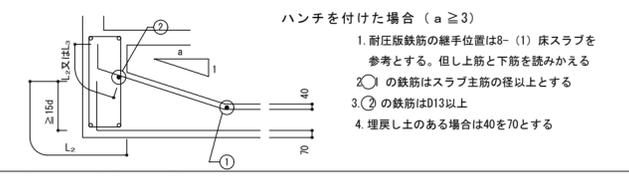
■ 布基礎、べた基礎の場合



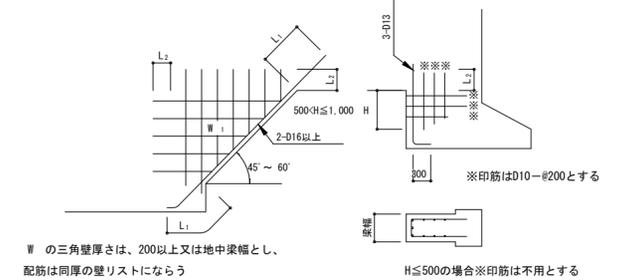
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

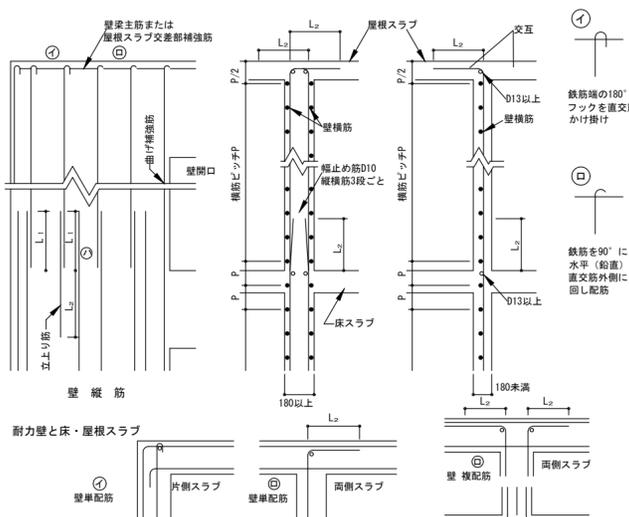


(4) 基礎接合部の補強

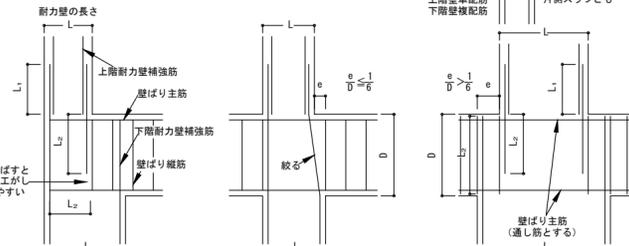


5. 耐力壁

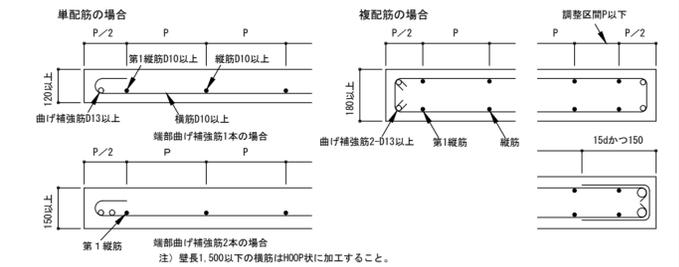
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



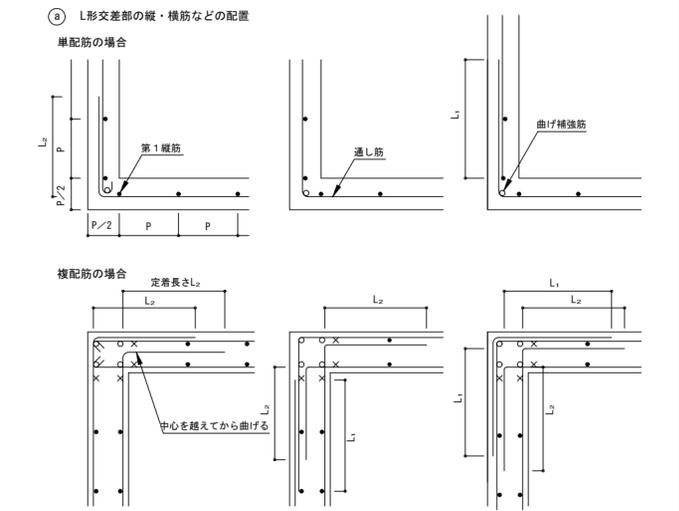
(2) 上・下階耐力壁の各種配置



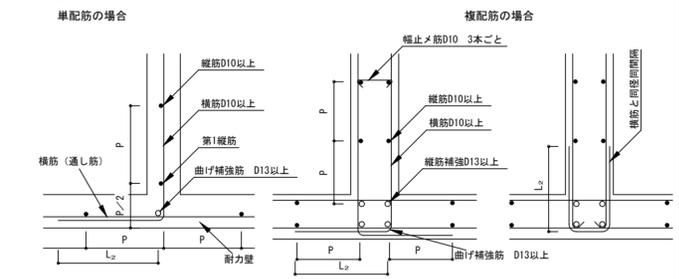
(3) 耐力壁の縦・横筋の配置



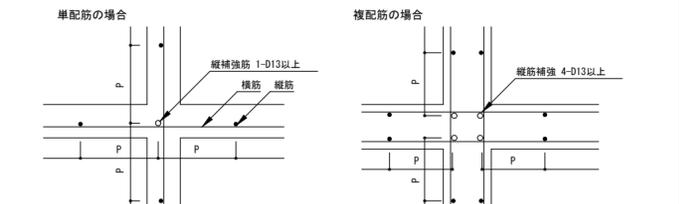
(4) 耐力壁が交差する場合 (平面)



(5) T形交差部の縦・横筋の配置

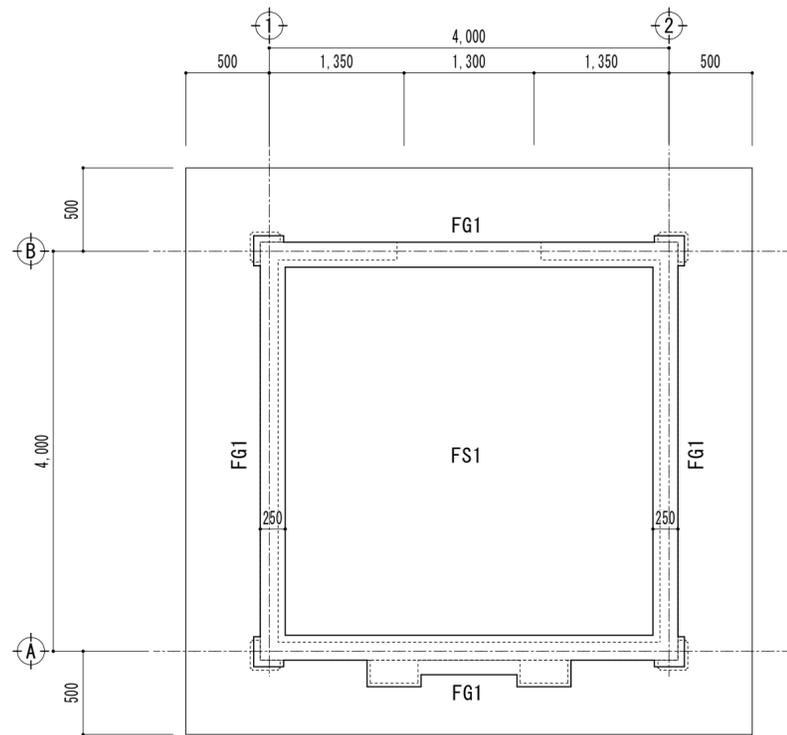


(6) 十形交差部の縦・横筋の配置



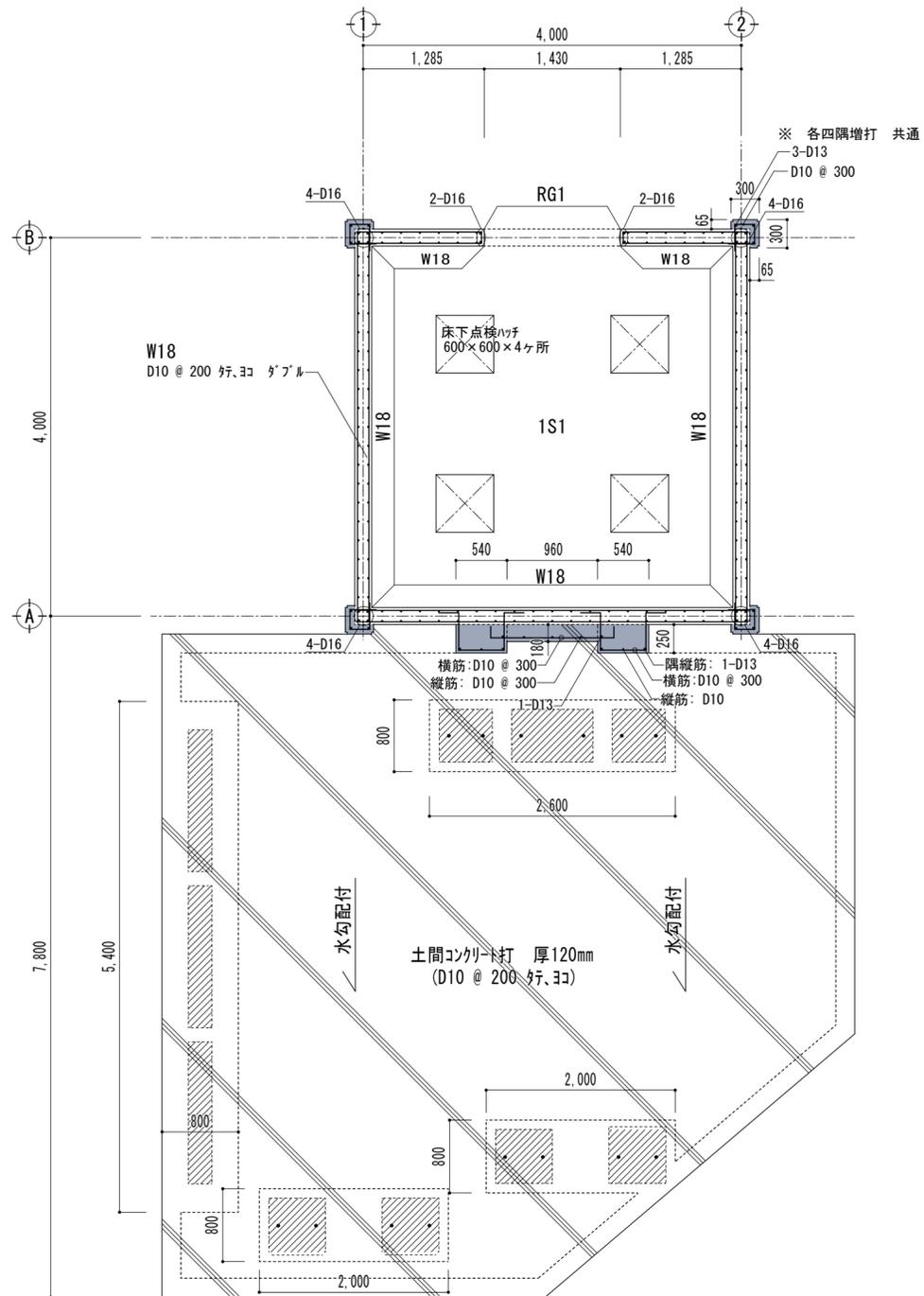
6. 使用可能な鉄筋の最大径 (標準)

部位	耐力壁	壁梁 がりよう 小梁	布基礎 基礎梁	スラブ	非耐力壁	塀
構造種別	壁式鉄筋コンクリート造					
表示記号	●	×	○	●		
鉄筋径	D10	D13	D16	D19		



基礎伏図

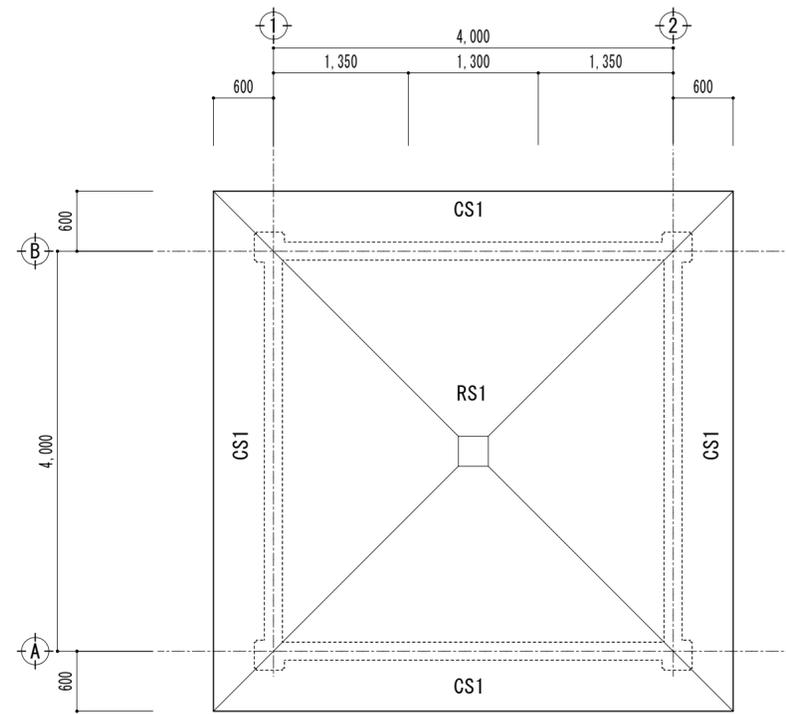
S=1/50



- ... 増打部分ヲ示ス。
- ... 石工事 御影石(無垢材)部分ヲ示ス。

1階床伏図

S=1/50



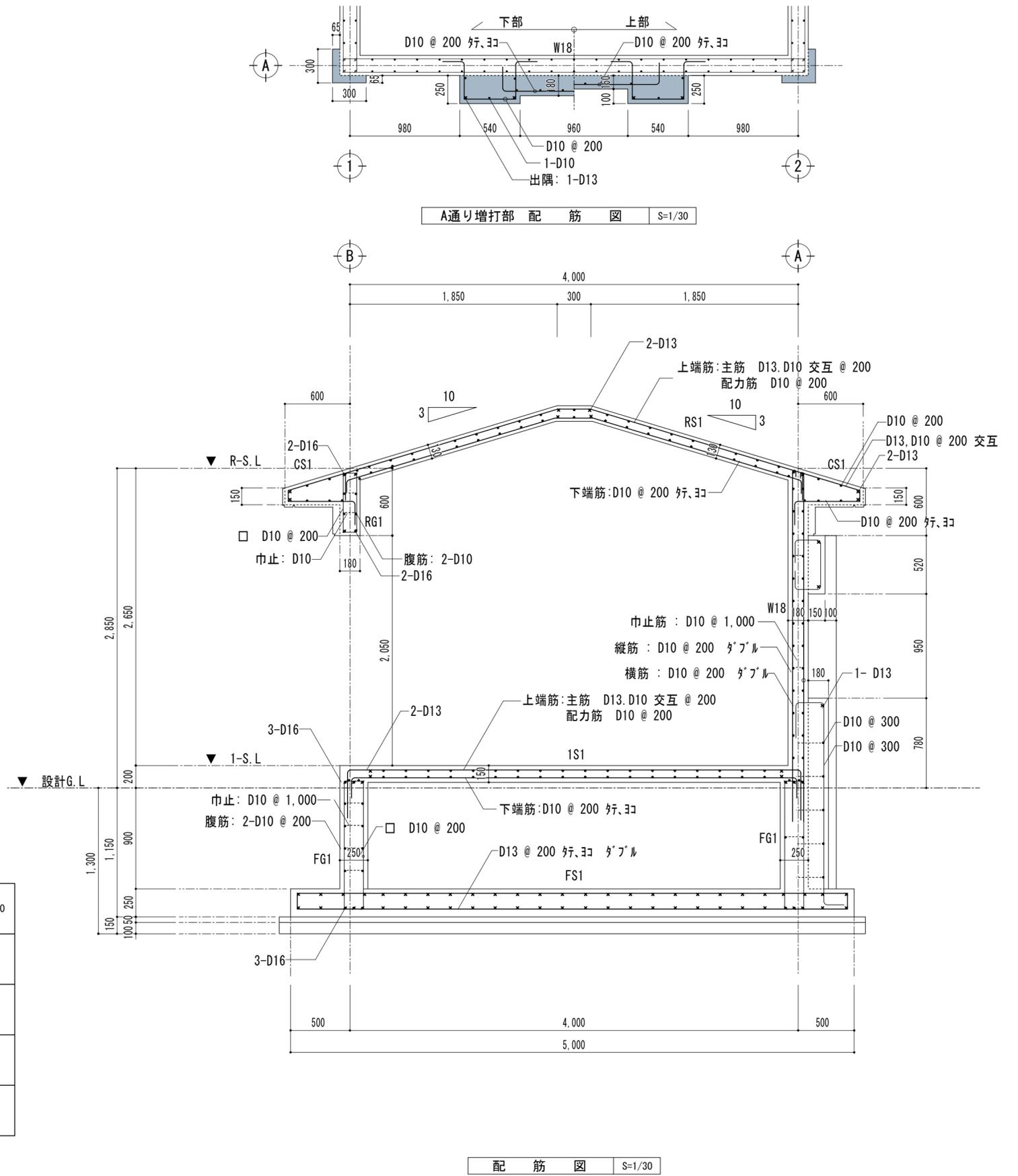
R階床伏図

S=1/50

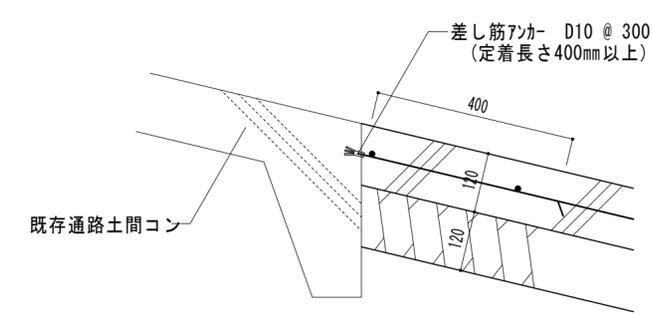
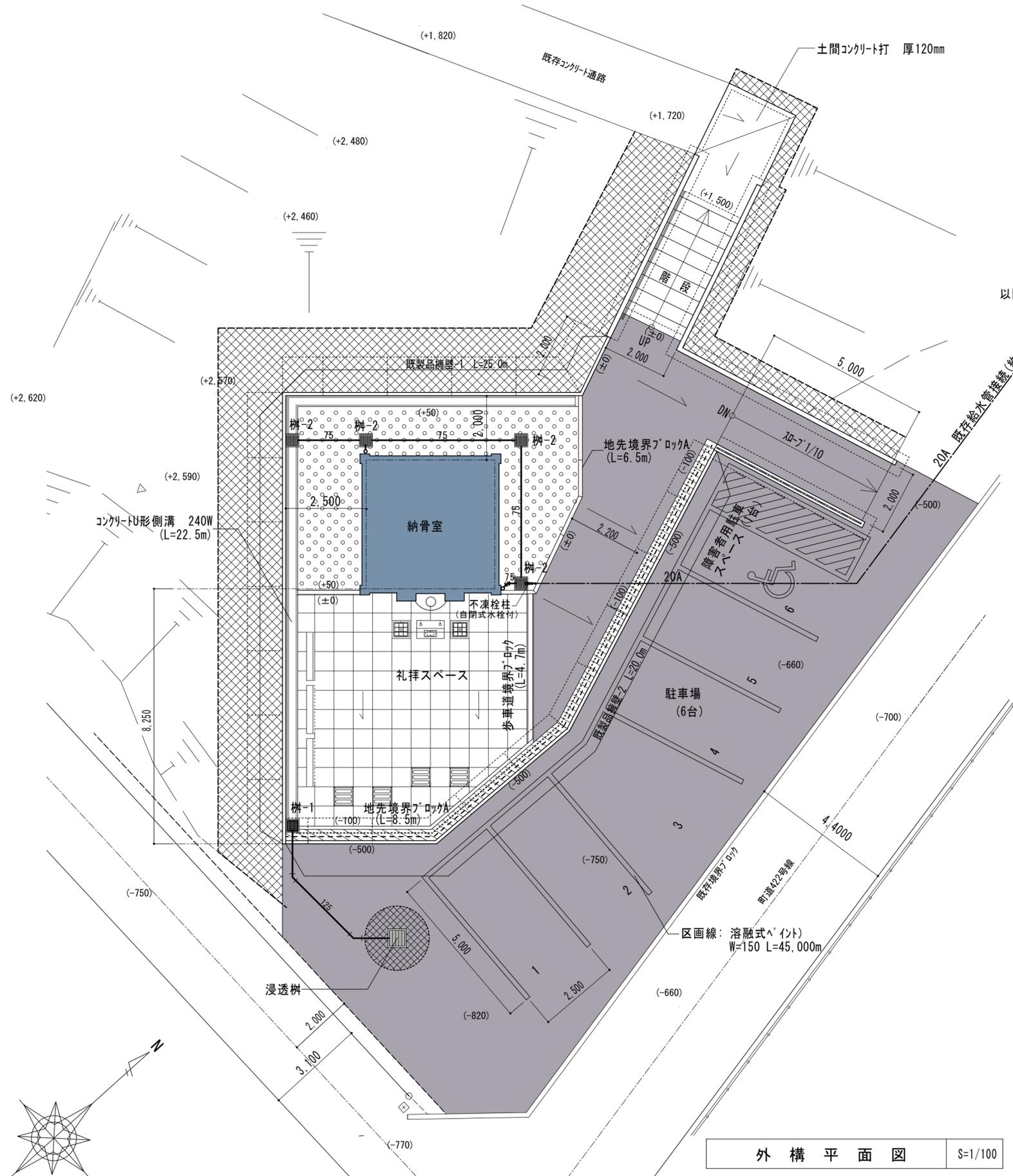
梁 リスト		1/30
符号	FG1	FG1
位置	全断面	全断面
断面		
上筋	3-D16	2-D16
下筋	3-D16	2-D16
肋筋	□-D10 @ 200	□-D10 @ 200
腹筋	6-D10	4-D10
巾止メ筋	D10 @ 1,000	D10 @ 1,000
備考		

壁 リスト		1/30
符号	W18	
断面 (垂直)		
縦筋	D10-@200ダブル	
横筋	D10-@200ダブル	
縦補強筋	4-D16	
横補強筋	2-D16	
斜補強筋	2-D19	
巾止筋	D10-@1000	
備考		

スラブ リスト						1/30
符号	版厚	位置	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配力筋方向)	備考	
RS1	130	上端筋	D13. D10 交互 @ 200	D10 @ 200		
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200		
1S1	150	上端筋	D13. D10 交互 @ 200	D10 @ 200		
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200		
FS1	250	上端筋	D13 @ 200	D13 @ 200		
		下端筋	D13 @ 200	D13 @ 200		



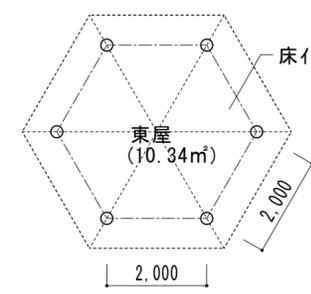
配筋図 S=1/30



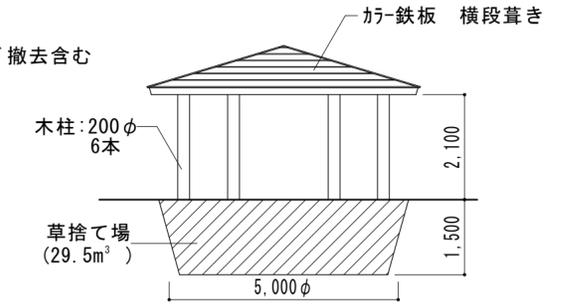
以降付近見取図による。

凡 例		数 量
	アスルト舗装 表層: 密粒度アスコン 厚50mm プライムコート PK-3 路盤: 再生クラッパン (RC-40) 厚150mm	215.0㎡
	玉石敷き 玉石砂利 (20~30mm) 敷き 厚50mm 防草シート (ホリスタール不織布) 敷き 厚0.6mm ビン固定工法 整地、転圧	30.0㎡
	粒調碎石敷き 粒調碎石 (20~30mm) 敷き 厚200mm程度 導水管 20A 布設 (25.0m) 透水シート敷 (9.5㎡)	20.0m
	掘削のり面緑化 土羽打の上 野芝目地張り (竹串1枚に4本打)	90.0㎡
	地先 地先境界ブロック 120×120×2,000	15.0m
	管径 排水パイプ VU管	VU-125 6.0m VU-75 10.5m
	樹種別 雨水樹 (P.C製)	樹-1 ... 450×450×600 ^H 蓋: ... グレーチング (細目) 1ヶ所 樹-2 ... 300×300×500 ^H グレーチング (細目) 4ヶ所
	メッシュフェンス H=1,200	フェンス基礎 (PC製) 250×250×450 20.0m
	既製品擁壁 ... 株式会社 高見澤 ハイパーロード 同等品 詳細は、外構詳細図による。	擁壁-1 25m 擁壁-2 20m

外 構 平 面 図 S=1/100

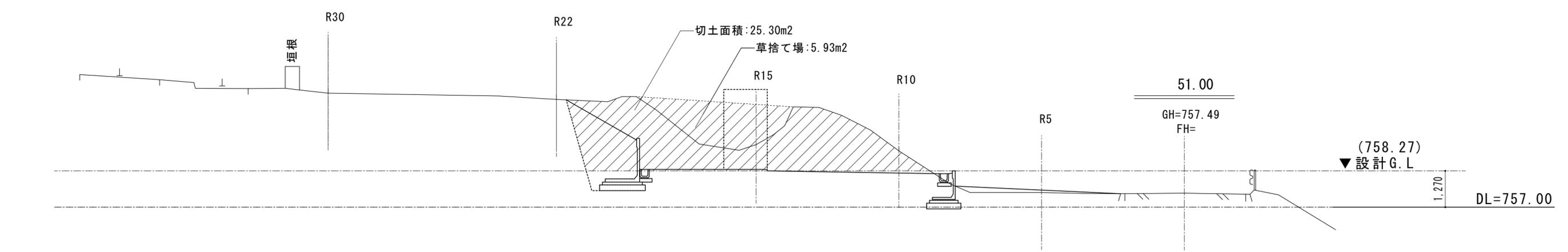
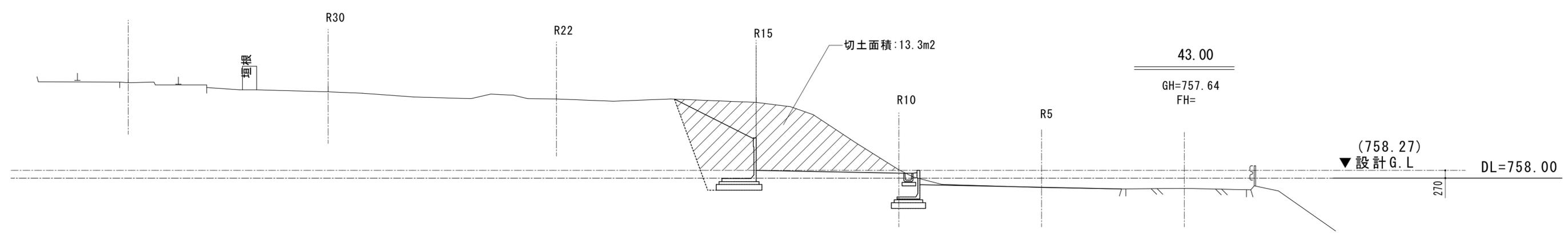
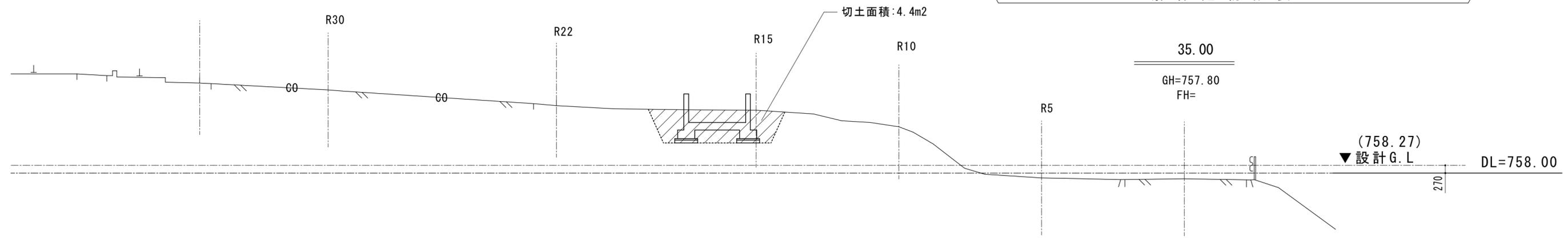


平面図



立面図

解体建物概要 1/100



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和	SHEET NO.
	令和4年度 箕輪町合葬式墓地建設工事	横断面図 / 解体建物概要	A2: 1/100 A3: 71%縮小	2022.03	一般建築士 第3343号 小河 豪 一般建築士 第3292号 伊東 紀典	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町大字林沢509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大臣登録 第352433号 一般建築士事務所登録 (伊那) G第37121号 小河 豪	D-02 / 15